



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5年度 CS通信No.15 R6.2.5



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

鯨ヶ沢中学校で一日入学開催



1月23日(火)鯨ヶ沢中学校で、来年春に入学する6年生児童のための一日入学がありました。

入学することを不安に思っている6年生児童を全面的に支援したのは、先輩の2年生生徒たちでした。中学校生活の一日の流れや委員会活動についてわかりやすく説明したり、ビデオの中で、部活動の紹介をしたりしていました。

最初は、緊張していた6年生児童ですが、ユーモアあふれる先輩方の説明で徐々にリラックスしてきたようで、後半は、笑顔が見られました。

次の体験学習でも、2年生生徒が率先して、学習支援にあたり、担当の先生の指示をわかりやすく伝えていました。

高齢者疑似体験(舞戸小学校3年生)



1月30日(火)舞戸小学校第3学年児童39名が、高齢者疑似体験を行いました。

子どもたちは、3人ずつ13のグループに分かれて、目や耳、手が不自由な状態で、「書類を書く体験」「電話帳で調べる体験」「お金の支払い体験」

を役割分担しながら行いました。

今回の高齢者疑似体験は、ほけん福祉課地域包括支援センターが中心になって指導しましたが、体験にあたっては、学校支援ボランティア3名と高齢者施設職員4名がかけつけ、子どもたちの活動支援を行いました。

目や耳、手を不自由な状態にするために、目隠しをしたり、耳栓をしたり、ゴム手袋と軍手を重ねて履いたりするので、その手伝いをしました。

また、活動の順番や方法が良く理解できない子どもたちに対しては、講師の先生の指示を繰り返し伝えたりして、活動がスムーズに進むように支援していました。

子どもたちは、体験を通して、お年寄りへの理解を深め、接し方や関わり方を考えていました。

最後まで頑張ったスキー教室(西海小学校)



2月1日(木)スキー教室がありました。スキー教室には、3～6年児童全員が参加しました。講師は、保護者と地域の方々9名が務めました。

講師の先生方の話によると、5・6年生は、昨年に続いてのスキー教室なので、安定した滑りで、さらに上達したということでした。3・4年生は、今年初めてのスキー教室でしたが、話をよく聞いて、一生懸命練習していたということでした。

閉会式では、講師の先生から、

「今日頑張ったことを明日からの生活や学習で活かしてください。」

と励ましの言葉がありました。

この日は、久しぶりの猛吹雪で、山頂付近は、氷点下10℃という気温の低さでしたが、講師の先生方も子どもたちも、最後まで頑張りました。